

(社)日本地すべり学会 平成 14 年度 第 1 回拡大幹事会議事録

開催日時：平成 14 年 7 月 17 日 11:00～16:30

開催場所：学士会分館会議室

出席者：会長・佐々恭二 副会長・山岸宏光 副会長・吉松弘行 専務理事・落合博貴

前会長・中村浩之 元会長・古谷尊彦 表彰委員長・中村三郎

事業計画部長(新潟支部長)・丸井英明 国際部長・福岡浩 研究調査部長・山崎孝成

総務部長代行(庶務委員長)・伴 要 編集出版部長代行・阿部真郎

事業計画部長代行・田口 宏 北海道支部長・前田寛之 東北支部長・宮城豊彦

中部支部長・川上 浩 関西支部長・山本哲朗 関西支部長代行・末峯 章

九州支部長代行・岩尾雄四郎 財政委員長・小林佳嗣 HP 整備委員長・太田英将

議 事

1. 会長挨拶

【報告事項】

1. 幹事・支部事務局名簿確認

北海道支部長に前田寛之理事、支部長代行は未定。後日、米田哲朗氏に決定

代行は部長の代理ができる者とする(名称については次回までに検討し提示する)。

2. 第 1 回幹事会議事録確認

3. 新役員各省庁挨拶報告

4. 各部・各支部の活動についての報告

編集出版部：学会誌年 6 回発行(2 回特集号)計画(案)

研究調査部：委託業務への取り組み

総務部：会費の確保・管理

事業計画部：研究発表会

国際部：HP の英文化

各支部：新潟の地すべりデータベース CD-ROM 出版

【審議事項】

1. 用語「地すべり」の学術的定義について

(社)日本地すべり学会では、用語「地すべり」の学術的定義は、国際防災の十年(IDNDR)期間中にユネスコの協力を得て斜面災害関連の国際学会(IAEG, ISSMFE, ISRM)が合同で設立した世界地すべり目録委員会(Working Party on World Landslide Inventory)により合意された“Landslides”の定義、すなわち“Landslides: The movement of a mass of rock, debris or earth down a slope.”と同義と考え、日本語においては、「岩、土及びその混合物の斜面下降運動」とする。ここで、Debrisは地質学的には崩積土と訳されるが、粒径の粗いもの、細かいもの、中間及びその混合物を含むすべての地層構成材料の意味なので、混合物と意識している。したがって「地すべり」は、これまで日本において使用されてきた地すべり、崩壊、土石流、落石・岩盤崩落、火砕流、盛土・法面崩壊、地震時の側方流動等を含む広い意味を含む用語である。

特に、地すべり対策事業では、この地すべりの内、地すべり地形を呈しているもの、クラックが形成されているものなどすでに過去に地すべりが発生した場所が再び活動している「再活動地すべり」を主な対象として来た。再活動地すべりも地すべりの一部であり、特に使い分けなくても意味が分かる場合は、「地すべり」と表記して良い。しかし使い分けが必要な場合は、「再活動地すべり」と明記する。

2. 今後の重要な取り組み

1) 都市域での地震時地すべりの予測

文部科学省科学技術振興調整費プロジェクト「地震豪雨時の高速長距離流動現象の解明」

2) 大規模山体崩壊の前兆現象の把握と地すべり危険度評価

地震・火山をキーワードとする新たな研究プログラムの検討

3) 地すべり研究のグローバル化

国際斜面災害研究機構(International Consortium on Landslide)

タイ国土開発局と地すべり学会との共同研究(IPLプロジェクト)

JABEE、CPD

4) その他

土砂新法への対応

若手ワークショップ

事業計画部担当、本年度はHPで公募（経費は予備費で充当）

記録（小林佳嗣） 文責（落合博貴）